

平成18年度 横手清陵学院 中学校・高等学校

「韓国ジョンバル高校交流事業」活動記録



横手清陵学院に姉妹校ができました！

秋田県では、2003年度から「学校花まるっプラン」として、各高等学校の「学校・地域の特性を生かした自主的、創造的活動」を助成しています。横手清陵学院では、昨年度から温められた韓国ジョンバル高校との正式な姉妹校提携が、この冬実現することになりました。12月18日（月）から21日（木）まで、引率職員3名、代表生徒20名（中学生3名、高校生17名）で韓国を訪れ、ジョンバル高校での顔印式、交流会に出席し、韓国の歴史的名所や史跡を見学してきました。韓国での4日間を報告したいと思います。

<日程>

月 日	日程	
2006年 12月18日 (月)	午前 学校発 午後 秋田空港より大韓航空にてソウルへ 韓国 仁川国際空港着 専用バスにてソウル市内へ ソウルタワー見学	 仁川国際空港に到着。専用バスにてソウル市内へ。
12月19日 (火)	午前 ジョンバル高校との交流 ・両校紹介と姉妹校同意書交換 ・両校生徒公演 統一展望台、臨津閣（イムジンガク）見学 午後 ジョンバル高校から各ホームステイ先へと移動	 交流会にて。清陵の生徒は「校歌」と「ふるさと」を唄いました。
12月20日 (水)	午前 ジョンバル高校集合後、市内観光へ 終日 景福宮、歴史博物館、南大門、ワールドカップ競技場、ロッテワールド等見学	 景福宮にて。
12月21日 (木)	午前 市場で特産品等を購入 仁川国際空港より大韓航空にて秋田へ 午後 秋田空港着後、専用バスにて横手清陵学院へ ◇無事到着、お疲れ様でした◇	 早朝の市場にて。

<韓国訪問を終えて（生徒の感想）>

<h3>「韓国で学んだこと」</h3> <p>中学校3年 女子</p> <p>二度目の韓国で、また新たにたくさんのことを吸収することができました。</p> <p>ホームステイでは韓国の温かい家庭と一緒に過ごせてよかったです。ソウルは、日本では言えば東京なので、夜でもとても明るくにぎやかな町でした。地震がない国なので、マンションがたくさんありました。韓国では日本で言う「マンション」は「アパート」と呼ぶそうです。会話がよく伝わらないときは韓国語を調べたり、「英語を使ったりしました。朝食はお母さん特製で、日本の朝食とあまり変わらず、違うのは「みそ」が全く違うものだということが、韓国だけあって「キムチ」などの辛いものがあることです。キムチはどこの家庭でも漬けているそうです。辛かったけれど、とてもおいしかったです！ ホームステイでお世話になった家族のみなさん、ありがとうございました。</p> <p>韓国の歴史的建造物や施設もたくさん見学しました。「景福宮」は昔の宮殿で、訪れるのは二回目ですが私にとっては何回行っても飽きないところです。韓国の歴史を感じる場所でした。「統一展望台」は、北朝鮮との統一を願って建てられた展望台です。ここからは北朝鮮が見えます。昔、同じ民族なのに戦争が起こり、北朝鮮と韓国に分断されてしまったのはとても悲しいことだと思います。川を境に分かれているのですが、一番近いところで460mしか離れていません。こんなに近いのに北朝鮮に入ることができず、戦争が終わったときに北朝鮮に家族がいた人は「自由の橋」という国境線ギリギリのところにある橋まで毎年行くそうです。家族と別れてしまった人は、一刻も早く祖国に帰らせてあげたいと思います。両国のわだかまりがなくなるといいです。</p> <p>韓国は日本よりも環境に対して厳しい国で、木でできているわりばし・つまようじなどは一切使われていません。韓国のつまようじは「でんぶん」でできていて、土に返せる自然にやさしいものになっています。日本でも環境への取り組みがもっと盛んになればいいと思います。</p> <p>ジョンバル高校を訪問したときには、中学生だけで清陵の紹介をしました。スピーチは英語で行いました。自分の発音で理解してくれるか不安でしたが、終わった後にノルウェーからの留学生が“Your English is very good”と言ってくれたので、とても嬉しかったです。その後、英語で何回か会話することができました。日本語を話せない人と英語で会話することが、とても新鮮に感じられました。</p> <p>今回の韓国ジョンバル高校訪問で、ジョンバル高校と姉妹校の締結をし、これからたくさんの交流ができることに、とても大きな希望がもてると思います。日本以外の国の学校と交流することが、これからの未来を作っていく礎になるといいです。日本と韓国は互いに理解し合い、どんどん発展して欲しいと思います。</p>
<h3>「充実のソウル4日間の旅」</h3> <p>高校2年 男子</p> <p>12月18日から始まった3泊4日の韓国・ソウル(ジョンバル高校)訪問は、あっという間に過ぎ去ってしまったという感覚でした。8月に、秋田県と韓国・釜山市との交流事業で釜山を訪れたのですが、その時とはまた違った韓国的一面を見ておくことができました。</p> <p>ソウルに着いた初日、インチョン空港では、ジョンバル高校の校長先生をはじめ、たくさんの先生方や生徒会のみなさんが出迎えてくれ、「いよいよソウルに来たんだな」と感じました。インチョン空港は韓国一の国際空港ということで、敷地面積はとも広く、今後さらに拡大される計画もあり、アジアだけではなく世界の経済において重要なポイントになりそうな場所でした。そして、その後の3日間は本当に内容が濃く、自分自身にとってとてもよい経験となりました。</p> <p>今回の研修で特に印象的だったのは、2日目の日程でした。ジョンバル高校では、先生方をはじめ、たくさんの生徒さん方の温かい歓迎のもとに、お互いの高校の発展を祈り、無事に姉妹校締結を終えることができました。その後の交流会では、伝統的な楽器の演奏、日本の曲を演奏したバンドなどなど、盛りだくさんのおもてなしでとても大きな感動を覚えました。</p> <p>また、その後に訪れた『統一展望台』では、様々なことを考えさせられました。自分がいる場所からすぐ目と鼻の先に、北朝鮮がある……何ともいえない気分になりました。ノルウェーから留学しに来ているマリウス君と各国の国交問題についていろいろと話し合いました。さらに、ホームステイでは家族のみなさんとたくさん話し、円滑なコミュニケーションをとり、充実した1日を送ることができました。</p> <p>翌3日目は、ソウル市内の各名所を観光しました。2002年に日韓共同で開催されたワールドカップ・サッカースタジアムはとても広く、選手と観客席の距離がとても短く、当時の興奮がよみがえってくるようでした。また、ロッテワールドはまさに室内にあるディズニーランドといった感じでした。さらに、南大門広場は活気があふれていて、あちらこちらで日本語が飛び交っているのがわかりました。</p> <p>わずか3泊4日という短い研修でしたが、この他にもたくさんのことを学んでおくことができました。この経験はこれからの自身の生活に必ず生きてくると思うので、忘れないようしっかりと心にとめて、今後の生活を送ってまいります。</p>
<h3>「未永い交流」</h3> <p>高校2年 女子</p> <p>今回の研修では、韓国のジョンバル高校と姉妹校同意書交換をし、締結の調印をすることが主な目的でした。それに伴い、相手の国をよく知らなければいけないというので、3泊4日の日程で韓国を訪問し、様々なことを学んでまいりました。異国の習慣や文化など、日本にないのは発見することの出来ない素晴らしい体験をすることができ、とても印象深い旅行になりました。</p> <p>主な目的であった2日目のジョンバル高校との交流では、日本の高校とは違った部分の発見がありました。廊下を歩いているだけで、まるでアイドルと遭遇したときのような盛り上がり方でした。授業中であるにも関わらず、たくさんの生徒が教室から身を乗り出して歓迎してくれました。これは日本の高校ではあまり見かけない光景ではないでしょうか。</p> <p>日本文化の発表のために、授業などを利用して、ジョンバル高校の人たちが喜んでくれるようなことを題材に選んで練習しました。私たちの班は発表内容を決めるのが一番遅く、十分な練習もできないまま出発してしまいました。ジョンバル高校に行く前日は、ホテルに着いてから寝るまで、ずっと練習しました。ホテルの受付の人が日本語を話せたので、韓訳してもらいました。そして発表当日。私たちの班がトッパッターだったせいもあり、とても緊張して不安でしたが、向こうの高校生のノリの良さや笑顔で乗り切ることが出来ました。</p> <p>夜はホームステイをし、全く通じないに等しい韓国語を話し、家族との交流を深めました。両親は日本語を話せず、日本語を話せる同年代のヨンちゃんに仲介役してもらいながら、韓国の家庭生活を楽しみました。朝食はいつも食べないらしいのですが、この日だけは朝からキムチ、ブルコギなどごちそうになりました。お心遣いをとても有難く感じました。</p> <p>統一展望台では、すぐ目の前に北朝鮮がありました。歴史的背景や戦争の恐ろしさや、妙な現実感をもって目の前に広がっていました。早く南北が統一されてほしいと思います。</p> <p>やっと慣れてきた韓国を背に、日本へ帰りました。久しぶりに見る まったく日本語に、「やっぱり自分は日本人なんだなあ。」と改めて実感し、感動しました。ひとまず、姉妹校同意書交換と締結の調印も無事成功し、安心していきます。</p> <p>これからジョンバル高校と未永く交流していくために、両校がお互いについてもっとよく知り合うことが大切だと思います。来年の訪問団には、両校のより良い関係づくりのために、一層の頑張りを期待しています。</p>

<横手清陵学院とジョンバル高校の概要>

	横手清陵学	ジョンバル高校
校 章		
校 訓	切礎琢磨	正道
学 級 数	中学校6学級規模、 高校15学級	45学級
生 徒 数	777名	約1600名
教 職 員 数	85名	約100名
卒業後の進路	約8割進学、約2割就職	約8割進学